

会報



2018. 1. 5
No.135

〒420-0853 静岡市葵区追手町9番18号 静岡中央ビル6階
TEL:054-255-4678 FAX:054-255-4699



URL <http://www.hs-pta-shizuoka.net/>
E-mail post@hs-shizuoka.net



年頭のご挨拶

静岡県公立高等学校PTA連合会

会長 小山 全司

新年あけましておめでとうござい
ます。会員のみなさまには、平成30年の
新春を健やかに迎えのこととお慶び
申し上げます。日頃より本県のPTA
活動の推進に格段のご支援・ご協力を
賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は8月24日(木)・25日(金)
に「第67回全国高等学校PTA連合会
大会 静岡大会」が本県で開催され、
全国都道府県市より約9400人のP
TAにご参加いただき、盛況裡に終了
することができました。

会員のみなさまにはオール静岡でお
もてなししていただき、参加された全
国の方々から静岡大会を称賛するお言
葉をいただいています。また、大会の
運営に当たった各部・各班の主管校・
協力校のみなさまにご尽力をいただき
ました。改めて感謝とお礼を申し上げ
ます。ありがとうございます。

さて、本会が目指すPTA活動は、
子どもたちの健全な教育環境や生活環
境を守るため、単位PTAのみなさま
と協同し、環境改善に努めるとともに、
会員相互の交流や研修会等とおして、
会員自らの資質の向上を目指すことを
目的に活動しています。本年もさらに
充実したPTA活動を行いたいと考えて
います。

子どもたちを取り巻く世の中は、目
紛しく社会環境が変化し、価値観も違
い、教育を取り巻く状況(高大接続改
革の推進等)は大きく変わろうとして
います。昨年、全国会長・事務局長研
修会でご講演いただいた大谷大学荒瀬
教授は、学校・家庭・地域の協働によ

る教育の充実がこれから生きる子ど
もたちに最も重要なことであり、具現
化しなければならぬ課題であると唱
えていました。

まさに、私たちが目指す活動と同調
するものであり、静岡大会の大会宣言
に示しました七つの内容の実行である
と考えます。

高大接続改革は、①高等学校教育改
革、②大学教育改革、③大学入学者選
抜改革の三本立てであり次代を担う子
どもたちに高校・大学でどのような資質
能力を養うかが、テーマとなっていま
す。高大接続改革という受験生だけ
の問題と捉われがちですが、カリキュ
ラムの変更も実施されることが予想さ
れ、高校生全体に関わることであり、
今後、子どもたち一人一人の社会的・
職業的自立に向けて必要な基盤となる
能力や態度を育てること、有徳の人づ
くりが、重要な意味を持つ改革になっ
ていくように思えます。

いまだ解決の糸口さえ見えない少子
高齢化、AIによる就業構造の変化等
多くの問題が山積みされてきている時
代を子供たちは、生き抜いていかな
くはならないと思えます。

そんな時代を過ごす子どもたちに私
たち大人もしっかり現状に関する知識
を得ることにより、子ども達と向き合
うことが大切になっていく時と考えま
す。

ふと、何年か前にPTA関係の会議
で聞いた言葉を思い出しました。
「誰かが何かをしてくれるかと求め
るのではなく、子どもたちのために何
ができるかを考えよう、かけがえのな

い子どもの命と幸せは日々保護者であ
る私たちが守り、また一緒に汗をなが
したPTAの仲間が守り、幸せをつ
くってあげなくてはいけない。」とい
う言葉です。

やはり私たち保護者のできることは、
他人任せでなく、私たち親の行為とし
て、子どもたちの学びの環境を整え、
一人ひとりが、自己実現に向けて自分
の可能性を未来に向かって十分発揮で
きるよう適正にリードし、見守ってい
くこと。そして、子どもたちの未来が
明るいものとなるよう一生懸命力をつ
くすこと。

これが、親の責務であり、PTA活
動の必要性だと思っています。

本年は、全国PTA連合会の委員会
において討議されている内容や講演会
で受講した内容など、見聞きした様々
な情報をできるだけ、単位PTAのみ
なさまと共有していきたいと思いま
す。本年も、みなさまで、PTA活動を
おいに盛り上げていっていただき、
出会う楽しさ、学ぶことの楽しさを感じ
ながら、「子どもたちのために」と
いう気持ちで、会員一人一人が持つ
ていただいたと思います。

本年も本会に関しまして、みなさま
の一層のご支援とご協力をお願い申し
上げ、ご挨拶とさせていただきます。

Contents 目次

年頭のご挨拶	1
平成29年度地区PTA指導者研修会報告	
各地区開催報告要約	2
学校PTA活動紹介	5
全国高P連	
全国会長・事務局長研修会報告	7
東海地区高P連	
第2回理事会・第1回委員会報告	7
平成30年度PTAの主な行事	7
平成29年度高校生善行表彰	8
静岡県高等学校安全振興会より	8

平成29年度 地区PTA指導者研修会 報告一覧表

県内11地区で行われました「地区PTA指導者研修会」は、本会の助成事業の中で、重要な事業に位置付けられています。青少年健全育成、家庭教育のあり方、地域活動の進め方などの地域の課題解決のために、世話人校及び研修担当校が中心となり、開催されました。

地区	開催期日	会場	世話人理事校	研修会担当校	研修テーマ等	参加者数(人)
賀茂	7月4日(火)	下田高等学校 視聴覚室		下田高校	講演 カツオ文化とまちおこし活動	80
三島・田方	7月4日(火)	函南町文化センター	三島北高校	三島南高校	生徒発表 生徒と地域とのかかわり 講演 「今だからこそ、解決志向！」 ～困難に柔軟なメンタルを育むために～	192
沼津・駿東	7月6日(木)	沼津市立図書館		沼津商業高校	分科会 ①Web利用時の安全対策 ②PTAと防災対策 ③PTAの連絡方法について ④文化祭へのPTAの参加について 講演 尊敬される褒め方と自主性をひきだす叱り方	210
富士・富士宮	9月8日(金)	富士市文化会館 ロゼシアター		富士宮西高校	発表 ①「協力」～一致協力してのPTA活動～ ②「創立40周年にあたってのPTA活動」 ～いざ新たな東へ～ 講演 「コミュニケーションを磨く」～子どもの声をこころから「聴く」ということ～	222
清水	9月8日(金)	エリザベート		清水桜が丘高校	講演 笑顔のありがとうは、奇跡 ～笑い文字を通して～	134
静岡	10月7日(土)	クーポール会館		駿河総合高校	講演 全盲の僕が弁護士になった理由 ～僕が両親から教わったもの～	190
志太・榛原	10月6日(金)	焼津市文化会館		島田商業高校	研修テーマ「褒めて育てる」 講演 ①スポーツを社会に活かす ②ともに育ち生きる	186
掛川	7月10日(月)	エコパアリーナ 多目的室	掛川西高校	横須賀高校	講演 地域が育て、地域リーダーとなる高校生 横須賀高郷土芸能部アトラクション 施設見学(エコパアリーナ等)	92
磐田	7月22日(土)	磐田市民文化振興センター		磐田農業高校	研修テーマ「ネット・スマホ問題」 ～家庭と学校の連携～ 講演① 携帯電話・スマートフォン使用の現状と課題に関する報告 講演② ネット・スマホ問題と家庭での親の対応	155
浜松南部	6月9日(金)	呉竹荘	浜松江之島高校	浜松江之島高校	講演 防災用品の活用について	144
浜松北部			浜北西高校			
特別支援P連	6月10日(土)	男女共同参画センターあざれあ		浜松視覚特別支援学校	ふじのくにチーム★輝きについての紹介等	96
合 計						1,701

平成28年度の合計数1,794人

詳細は、本会ホームページに「平成29年度 地区PTA指導者研修会 報告書」
でアップしました。 URL <http://hs-pta-shizuoka.net/>

賀茂地区PTA指導者研修会

一 挨拶 下田高PTA会長 長田芳郎



高校生のスマホ利用、子供を守るのは親の責任ではないか、周知徹底したいと話された。

二 挨拶 下田高校長 綾部信明



子供たちを地域で守り育てることがPTAの重要な役割。この研修会を通して、各地域に還元してほしい。

三 講演 講師 芹沢安久氏
演題 カツオ文化と町おこし活動



カネサ経節商店創業130年以上の老舗「乾法」によるカツオ関連商品の製造をしている。

三島・田方地区PTA指導者研修会

一 生徒発表 三島南高校三年 坂倉颯太君

「生徒と地域とのかかわり」と題して、生徒会、生徒ボランティア等による活動や大場清掃や飲食店とのコラボ企画などに取り組んでいるとの報告があった。



二 講演 講師 服部織江氏
演題 「今だからこそ、解決志向！」
～困難に柔軟なメンタルを育むために～



メンタルヘルス・トータルサービス元気の種 代表

現在「プリーフセラピスト」として活躍している。
・問題解決 問題
↓原因↓解決
・解決志向 問題
↓解決↓解決
の構築
についてのお話があった。

沼津・駿東地区PTA指導者研修会

一 開会

司会 沼津P副会長 横山友香
開会 御高P会長 窪田充宏
挨拶 沼商P会長 上原 明
沼商校長 前田喜久子
豊亨講堂長 望月美奈子

研修会報告 沼城北P会長 林 賢司

二 分科会

第1分科会「Web利用時の安全対策」
インターネットは、高校生に欠かせないツール。
利用自粛の現状について意見交換した。

第2分科会「PTAと防災対策」
各校の取り組み状況の紹介があった。一員として防災に関心を持つことが大切。

第3分科会「PTAの連絡方法について」
通学エリアが広範囲にわたる。PTA等情報交換が重要。現状と今後の活動について意見交換した。

第4分科会「文化祭へのPTAの参加について」
学校を取り巻く環境やPTAの考え方が変化する中、各校の取り組みについて情報交換した。



三 講演 松永洋忠氏

湘南話し方センター所長

演題 「尊敬される褒め方と自主性をひきだす叱り方」
シリーズ受講生は、4人以上、その他20万人以上、心の持ち方、話し方、生き方の指導に支持者が多い。



富士・富士宮地区PTA指導者研修会

一 開会

司会 富士宮西高P副会長 與五澤かおり
開会の言葉 富士見高P会長 松野智仁
挨拶 富士宮西高P会長 鈴木敦子
県高校PTA連合会副会長 望月美奈子



二 発表

発表一 「努力」一致協力してのPTA活動
吉原工業高PTA会長 藤島小百合
発表二 創立40周年にあたってのPTA活動
富士東高PTA会長 室月 孝康

三 講演 講師 齋藤めぐみ氏

演題 「コミュニケーションを磨く」
～子どもの声をこころから「聴く」ということ～

国家資格キャリアコンサルタント

キャリアアカウンセラーとして、高校生の進路指導、大学生の就職活動の支援等相談にのっている。聞く態度には、「受容と尊重」「信頼」「待つこと」がある。



清水地区PTA指導者研修会

一 開会

司会 清水桜が丘 奥山紀之
会長 佐野千明
広報委員長 片瀬恵太
開会の言葉
清水桜が丘 研修委員長 渡邊紀之
挨拶 清水桜が丘 校長 渡邊紀之
県公立高校P連合会副会長 青山 健

二 講演 講師 廣江まさみ氏
演題 笑顔のありがとうは、奇跡
～笑い文字を通して～



一般社団法人 笑い文字普及協会 代表理事
笑い文字創始者として、国内各地また海外においても数多くの講座を開催している。
ありがとうは、人を幸せにします。



静岡地区PTA指導者研修会

一 開会

司会 駿河総合P副会長 曾田和美
開会の言葉 駿河総合P会長 平野貴久
来賓挨拶 県公立高校P連合会 副会長 青山 健

校長挨拶 駿河総合高校長 酒井行男
日程説明 駿河総合P庶務 多々良妙子

二 全体会

駿河総合高校 和太鼓部 演奏



講演 講師 大胡田 誠 氏
演題 全員の僕が弁護士になった理由
〜僕が両親から教わったもの〜

弁護士法人 つくし総合法律事務所 弁護士となり10年目 担当は、離婚問題・相続問題・交通事故の問題等を扱っている。
12歳で失明し、苦難を乗り越え、弁護士になった。人生に立ちほだかる困難から逃げずうまく付き合う姿勢を持って、と話された。



志太・榛原地区PTA指導者研修会

研修テーマ 褒めて育てる

一 全体会

島田商業PTA副会長 村松亜紀
主催者代表挨拶
島田商業 PTA会長 北川和也
主管校代表挨拶
島田商業 副校長 西川聖美
来賓挨拶
県公立高校PTA連合会 会長 小山全司

二 講演 講師 有森裕子 氏

元マラソン選手

オリンピックメダリストとして、現在もオリンピックに様々な形で携わっている。
「スペシャルオリンピック」「パラリンピック」についてのお話をいただいた。



三 意見交換会

研修テーマ「褒めて育てる」をもとに、4つのグループに分かれて意見交換した。
(まとめ)
1 褒めることは、認めること。
2 叱るときは、感情的にならず、何故かを説明する。



掛川地区PTA指導者研修会

一 開会

総合司会 横須賀PTA副会長 横山敦子
開会の言葉 横須賀高P評議員 池田和恵
実行委員長挨拶 横須賀高P会長 渡邊正美
当番学校長挨拶 横須賀高P校長 三科真弓
来賓祝辞 県公立高校P連合会 副会長 山崎好和



実行委員長挨拶

二 講演 講師 鈴木武史 氏

演題 「地域が育て、地域リーダーとなる高校生」
横須賀地区は、ほんの少し時間の針がゆっくり進む町。お祭りを伝統的、文化的なものとして、高校生に受け継ぐため頃に活動している。横須賀高校郷土芸能部は地域の大きな力である。



遠州横須賀倶楽部

三 アトラクション 横須賀高校 郷土芸能部

「三社祭礼囃子」第67回全国高等学校PTA連合会静岡大会オープニングアトラクション編が披露された。



横須賀高校 郷土芸能部

磐田地区PTA指導者研修会

研修テーマ 「ネット・スマホ問題」
〜家庭と学校の連携〜

一 全体会

司会 磐田農PTA副会長 鈴木直樹
開会の言葉 磐田北P副会長 森岡 剛
理事校PTA会長挨拶 磐田農業高校P会長 永井光雄
校長会会長挨拶 磐田南高校長 白畑 豊
来賓挨拶 県公立高校P連合会副会長 山崎好和
県・東海大会報告 磐田北PTA会長 小川正信
二 講演一 「携帯電話・スマートフォン使用の現状と課題に関する報告」 磐田農業高等学校PTA

スマートフォンを使いすぎによる睡眠時間や学習時間の減少等の弊害を防止するルールづくりのために、アンケートを行った。
利用方法を真剣に考え、課題解決の姿勢を育てることが必要である。



三 講演二 講師 塩田真吾 氏

演題 「ネット・スマホ問題と家庭での親の対応」
静岡大学教育学部准教授
①LINEの利用実態とトラブル
②子どものフィルタリングの「3万人調査」
③情報モラル教育の課題
※メディアと上手に付き合う力
送り手の意図を考える力が重要である。



浜松地区PTA指導者研修会

一 総会 会長挨拶 浜松湖南高 池迫真弓

来賓挨拶 県公立高校PTA連合会副会長 山崎好和
PTA活動は子供たちの健全な教育環境や生活環境を守るために皆様と学校が一致協力し、環境改善に努めること等、ご挨拶があった。



二 講演 講師 網谷匡史 氏

演題 防災用品の活用について

ミドリ安全株式会社 危機管理営業部長
阪神大震災と東日本大震災で被災した。近年発生している自然災害について、実体験を踏まえて地震や自然災害の防災について話された。
(サブイバルパンの実食)
缶入りのパンで酸素を抜いてから加熱殺菌している。現在は、缶から紙のパッケージに変更して、ごみの量が20分の1に減少した。
その日に備えることが重要と話された。



特別支援学校PTA指導者研修会

一 総会

司会 浜松視覚特別支援学校 大林幸徳
開会のことば
浜松視覚特別支援学校 松村かおり
会長あいさつ
富士特別支援学校 深澤志乃
来賓祝辞 県公立高校PTA連合会会長 小山全司 氏

二 議事
(一) 平成28年度事業報告
並びに決算の承認について
(二) 新役員承認について
(三) 新会長あいさつ
浜松視覚特別支援学校



(四) チーム★輝きへの予算抛出について
これまでの経緯説明
富士特別支援学校 三原秀樹
静岡県教育委員会より

三 特別支援教育課 課長 山崎 勝之 氏
指導監 山田 浩昭 氏
人事監 滝尾 彰彦 氏

※特別支援学校課からの所管事項の説明があった。

静岡県立下田高等学校PTA紹介

学校紹介



本校は、静岡県の最南端に位置し、明治12年に創立された私立豆陽中学校が前身である下田北高校と、大正9年に創立された賀茂郡立賀茂高等女学校を前身とする下田南高校が、平成20年に統合し、本年度統合10周年を迎えました。

全日制過程では、普通科と理数科、園芸科のある南伊豆分校、そして定時制課程の編成となり、賀茂地区の拠点校としての役割を担っています。



正門より校舎を望む

校訓は、「何事にも誠実に取り組む」という『至誠』、「広く日本や世界で活躍する」ようにと『雄飛』、「地域のために尽くす」と

いう『献身』の三つの言葉を掲げ、また、南伊豆分校においては、「大地に感謝し、豊かな人間性を培う」という願いをこめた『大地豊穡』を掲げています。

生徒たちはこの校訓の下、勉強、部活動に対して日々努力しており、自己の夢に向かって一歩一歩前進しています。



校訓の碑

PTA紹介

下田高校PTAは、地域に根ざしたPTA活動を目指して日々取り組んでいます。



第67回全国高P連 静岡大会会場にて



PTAバザー

5月にPTA総会を開催します。あわせて授業参観や進路講演会を行っています。6月に1年と3年、9月に2年で学年別のPTA連絡会を開き、学校との関わりの機会を増やしています。6月の学校祭では、PTA主催のバザーを開催し、多くの来校者から好評を得ています。7月には賀茂地区PTA指導者研修会を行い、地域のPTA間で連携を強めています。

委員会は4つに分かれて活動しています。広報委員会はPTA会誌「轍」を年2回発行しています。研修委員会は、賀茂地区PTA指導者研修会に参加しています。生活委員会は、朝の交通安全指導を通して、生徒の登校時の交通安全指導を行っています。進路委員会は、PTA総会時の進路講演会を円滑に運営しています。学校と地域が連携して子どもたちを育てるためには、PTAの活動がますます活発になっていくことが必要だと感じています。

学校紹介



本校は、大正13年に静岡県立庵原中学校として開校し、清水中学校、清水第一高等学校と名称が変わり、現在の清水東高等学校となりました。本校の校訓は「金剛の意志」で、創立のころからは、知・徳・体を兼ね備えた人格の育成にあり、文武両道が校風となっています。

また、静岡県内の高校では最も早く理数科を設置し、理科・数学の教育に力を入れ、県内の理数教育をリードしてきました。そして、平成16年度に文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受けて以来、本年度はなんと4回目の指定を受けることができました。今回は、静岡県では、本校だけがSSHの指定校となりました。本校は、これまでに多くの難関大学合格という進学実績を残すとともに、社会の様々な分野で活躍する人材を多く輩出してきました。そして、サッカーでは全国、世界で活躍する選手や指導者も輩出しました。



正門より校舎を望む



球技大会(勝利を目指せ!)

清水東高校 校長 鈴木照彦

PTA紹介

当校のPTA役員は、本部役員10名、地区役員60名の70名にて構成されています。地区役員は各地区の保護者の代表として、行事に積極的に参加するとともに、保護者の声を吸い上げ、本部役員は地区役員の代表として、行事に参加するだけでなく、学校との話し合いや他校との交流も担っています。

年間を通じての主な活動は、文化祭でのバザー、エコリサイクル活動(廃品回収)、生徒とともに街頭交通安全指導、そして、学校林育成事業となります。バザー、エコリサイクル活動などでの収益は、生徒会の活動費として寄付をしています。交通安全指導は、生徒と共に学校周辺の辻に立ち、登校してくる子どもたちへの声掛けを行っています。学校林育成事業では、本部役員や該当地区の地区役員、教職員とともに、学校林が植わっている山頂まで行き、途中の山道の下草狩りや育成状況の確認を行っています。

全体的に教職員や生徒との交流の機会が多いこともあり、楽しいPTA活動ができていると感じています。清水東高校PTA会長 兼高光清



学校林下草狩り



清水地区PTA指導者研修会

静岡県立掛川東高等学校PTA紹介



学校紹介

本校は今年で創立105年を迎え、男女共学化から20年が過ぎます。また現在地に移転し、新校舎落成から15年を迎え、普通科単位制の高校として、現在724名の生徒が緑豊かな環境で明るく伸び伸びと学校生活を過ごしています。

単位制高校である長所を生かして、多くの選択科目が履修可能な点が学習における特徴と言えます。生徒の約9割が進学しますが、本校には女子高時代に「衛生看護科」が設置され、多くの卒業生が看護師や助産師となり、地域医療を支えています。現在も看護師や医療技術者になる希望を抱き、4年制大学や看護専門学校に多数の生徒が進学します。



校舎空撮



中庭の紅葉

一方、部活動も盛んで、弓道部男子は昨年八月に宮城県で開催されたインターハイ団体戦で見事に四位入賞、また吹奏楽部も全国高文祭マーチング部門に出場する活躍を見せました。多くの運動部、文化部が活発に活動し、放課後の校内には、いつも生徒の元気な声が響いています。

本校のPTA活動は本部役員6名と各地区3名、合計45名のPTA評議員で構成され、5つの専門委員会を中心となり活発に活動しています。専門委員会と主な活動を紹介します。

総務委員会は年2回の「校内草刈り作業」とマラソン大会時のドリンクサービス、表彰補助を担当します。広報委員会は年2回、「PTAだより」を発行します。安全保健委員会は年2回、生徒登校時の交通街頭指導と学校保健委員会に参加します。文化委員会は学校祭において「桔梗茶屋」を出店し、「法多山厄除けだんご」や和菓子を取り扱います。進路委員会は年2回、保護者と生徒を対象に進路講演会を開催します。これらの中で、本校らしさを示す活動は「校内草刈り作業」と思われます。本校は山地や畑であった場所に地元の協力も得て移転したため、学校内外の緑が色濃く、定期的に草刈りをする必要があります。常に三年生保護者の8割以上が参加し、職員、生徒のボランティアと共に作業を進め、学校の環境維持に貢献しています。



PTA草刈り作業



交通安全街頭指導

PTA紹介

本校のPTA活動は本部役員6名と各地区3名、合計45名のPTA評議員で構成され、5つの専門委員会を中心となり活発に活動しています。専門委員会と主な活動を紹介します。

総務委員会は年2回の「校内草刈り作業」とマラソン大会時のドリンクサービス、表彰補助を担当します。広報委員会は年2回、「PTAだより」を発行します。安全保健委員会は年2回、生徒登校時の交通街頭指導と学校保健委員会に参加します。文化委員会は学校祭において「桔梗茶屋」を出店し、「法多山厄除けだんご」や和菓子を取り扱います。進路委員会は年2回、保護者と生徒を対象に進路講演会を開催します。これらの中で、本校らしさを示す活動は「校内草刈り作業」と思われます。本校は山地や畑であった場所に地元の協力も得て移転したため、学校内外の緑が色濃く、定期的に草刈りをする必要があります。常に三年生保護者の8割以上が参加し、職員、生徒のボランティアと共に作業を進め、学校の環境維持に貢献しています。

静岡県立東部特別支援学校PTA紹介



学校紹介

本校は伊豆の国市に所在し、学校からは富士山を望み、駿豆線電車の走行音が聞こえ、自然に囲まれた中で四季の移り変わりを満喫できる環境です。伊豆半島全域に、伊東、川奈、伊豆高原、伊豆下田、伊豆松崎の5つの分校を持ち、静岡県伊豆地区の特別支援教育のセンター的機能を担っています。

本校の創立は昭和40年9月で、平成28年に50周年を迎えました。現在は現校舎南側に新校舎を建築中。日々組み上がっていく鉄骨に、平成30年夏の新校舎完成と9月からの新校舎生活への期待が膨らみます。

平成29年度の児童生徒数は、小学部47人、中学部18人、高等部19人、訪問教育7人の計91人で、児童生徒の居住地は8市3町と広範囲になっています。教職員は、事務部、看護師、介助員を含め全部で109人です。



学校全景



新校舎鳥瞰図

最大の行事は、PTAが全員体制で臨む「ふれあいバザー」です。よりよいバザーになるように、PTAで試行錯誤してきました。特色は①学習の場の充実：買い物体験に加え、ゲームコーナー企画など、児童生徒が楽しめる要素を取り入れました。高等部生徒による作業学習製品の販売も行います。②近隣の福祉事業所との連携：出店を依頼し、平成29年度は14事業所が参加。卒業生の働く姿を見て学ぶ場にもなっています。③地域への広報：地域施設へのポスター掲示や広報誌への掲載依頼を通して、地域へ発信します。

その成果もあって、児童生徒のみならず、地域でも心待ちにしてくださる人も多く、毎年恒例の行事になつていきます。バザー当日は、児童生徒・保護者・地域の方との交流や会話が生まれ、会場である体育館が熱気に包まれます。東部特別支援学校のサポーターが地域や社会にもたくさんいることを実感するPTA行事となつていきます。

PTA紹介

学校教育目標

～力をいっぱい発揮して
たくましく豊かに生きる人～



PTAバザー

全国高等学校PTA連合会
第1回全国会長・
事務局長会議報告

日時 平成29年10月15日(日)
午前9時30分から

会場 ホテルピノ京都

出席者 各都道府県市PTA連合会会長・事務局長
全国高P連理事・監事、その他関係者

あいさつ 牧田和樹会長あいさつ
佐野元彦顧問あいさつ



研修会(講演)
テーマ 学校・家庭・知育の協働による
キャリア教育の充実

講師 大谷大学文学部教授 荒瀬克己氏

(講演要旨)
平成28年12月、「中教審
答申」があった。
授業改革が謳われ、キャ
リア改革の提言があった。
これからの社会は、人工知
脳(AI)などの発達から
その進展が早く、どのよう
になるかわからない。

これからは、多様な人々
が協力しながら、主体性を
持って人生を切り開く力が
必要である。知識だけでは
ダメである。新しい価値の
創造、資質と能力を育てる
「人間の学習」が必要であ
る。と話された。



東海地区高等学校PTA連合会
第2回理事会並びに
第1回委員会報告

日時 平成29年10月27日(金) 午後2時

会場 愛知県産業労働センター

出席者 東海地区各県高P連会長・副会
長・理事14人、各県事務局8人
本県からは、小山全司会長、関隆之
副会長、望月美奈子副会長、志村剛和
校長理事が出席しました。

○三重県高P連が事務局を務め、「第2回
理事会並びに第1回委員会」が開催され
ました。

第2回理事会報告

一 報告事項

- ・全国高P連第3、4、5回理事会
及び定時総会の報告
- ・全国高P連大会静岡大会の報告
- ・全国高P連会長・事務局長
研修会の報告

二 協議事項

- ・平成30年度東海地区高P連事業計画
- ・平成30年度東海地区高P連愛知大会
- ・全国大会開催ガイドライン改定案
- ・「バイクの3ない運動」について

第1回委員会報告

全国高P連で開催された各委員会報告が
ありました。

- ①健全育成委員会の報告
- ②進路対策委員会の報告
- ③調査広報委員会の報告
- ④研修委員会の報告
- ⑤全国高P連賠償責任補償制度運営委員
会の報告



静岡県公立高等学校PTA連合会
平成30年度 主な行事計画

事業目標

次代を担う青少年の心身共に健やかな成長と高等学校教育の更なる充実と発展を願っている私たちPTAは、生涯学習の視点に立脚して、自らが学び、自らの資質の向上に努めるとともに、青少年を取り巻く社会環境の整備を積極的に推進する。また、社会教育団体として家庭・学校・地域・社会との連携・協働を図り、家庭や地域の教育力の充実及び向上等に寄与する。そのため、次の重点目標を定め、事業を企画し積極的に推進する。

重点目標

- 1 自主的、主体的なPTA活動を推進し、充実した魅力ある学校づくりを支援する。
- 2 学校及びPTA相互の連携(幼・小・中・高)を密にし、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。
- 3 教育環境の整備及び充実を図る。
- 4 学校や関係機関等と連携し、就職・進学等の進路指導の充実に努める。
- 5 学校や関係機関等と連携し、防犯活動や交通安全教育・交通安全運動を一層推進する。

静岡県公立高等学校PTA連合会 平成30年度 事業計画		
開催日	事業	会場
5月10日(木)	会計監査、会長・副会長会①、理事会①、被表彰者選考委員会	クーポール会館
6月1日(金)	表彰式、総会、研修会	しずぎんホール
6月～10月	地区PTA指導者研修会・特別支援学校PTA総会	各地区
10月11日(木)	高校生善行表彰選考委員会	クーポール会館
1月25日(金)	会長・副会長会③	パルシェ7F
2月7日(木)	理事会②、特別委員会	クーポール会館
東海地区高等学校PTA連合会 平成30年度 事業計画		
4月27日(金)	理事会①	ウインクあいち
6月22日(金)	総会、東海地区高P連愛知大会	刈谷市総合文化センター
10月25日(木)	理事会②、委員会①	名古屋市
2月15日(金)	理事会③、委員会②	名古屋市
全国高等学校PTA連合会 平成30年度 事業計画		
6月23日(土)	定時総会	東京ガーデンパレス
8月19日(日)	第68回全国高P連大会佐賀大会 静岡県高P連情報交換会	博多
8月20日(月)	第1日開会式、表彰式、基調講演、分科会	佐賀
8月21日(火)	第2日分科会報告、記念講演、閉会式	佐賀

平成29年度 高校生善行表彰

平成29年度
高校生善行表彰選考委員会
日時 平成29年10月12日(木)
会場 クーポール会館
選考委員 会長、副会長、校長理事
県教委社会教育課長、事務局長

○単位PTAより、団体の部1、個人の部4校8人の推薦があり、審査の結果、次のとおり団体・個人の授賞が決定しました。
受賞された団体・個人は、賞状・副賞(盾)が授与されます。

団体の部(一校一団体)

表彰区分 奉仕活動等

(社会福祉施設への慰問や奉仕活動)

学校名 静岡県立金谷高等学校

団体名 ボランティア部

代表者名 平松大三 三年

平成18年4月から、隣接する金谷小学校の障がい児学童クラブで、放課後子どもたちと交流している。障がい児の保護者会の時などには、遊び会を開き子どもたちの託児をしている。いまでは、地域にある特別支援学校、幼稚園や公民館、こども館のボランティアの要請が増えている。

また、献血及び献血呼び掛け活動に取り組んでいる。年末助け合い募金や災害時の募金活動など継続して行っている。

個人の部(四校八人)

表彰区分 善行

(災害に対する救助・救援活動(人命救助))

学校名 静岡県立清水西高等学校

氏名 藤原正真 三年

平成29年6月25日(日)朝、部活動練習のため自転車で登校中、静岡市清水区村松一丁目付近の歩道上で、血だらけで倒れている高齢男性を発見し、付近にいた大人2

人と救急車の手配、応急処置や本人への声掛けなど対応した。
※静岡市消防局救急救命士より「ありがとう」カードを受領した。

表彰区分 善行

(災害に対する救助・救援活動(人命救助))

学校名 静岡県立伊東商業高等学校

氏名 大田龍斗 三年

小川透輝 三年

高橋こころ 三年

平成29年4月13日(木)夜、部活動の帰りの道端で倒れて動けなくなっている老婆を発見した。車両からの安全を確認しつつ、老婆の状況を観察し、不安を払拭する声掛けや介護をしながら、家までおぶって送り届けた。この行動を見て立ち会った方々から称賛された。

表彰区分 善行

(災害に対する救助・救援活動(人命救助))

学校名 静岡市立清水桜が丘高等学校

氏名 久保田理子 三年

稲名真帆 三年

飯田実月 三年

平成29年4月初旬、部活動練習中に自転車の乗った老人女性が転倒してしまったところを発見した。意識の確認を行った際に、頭部打撲・出血があったので、応急処置のため本校保健室へ付き添い看護した。けがのため本校保健室へ付き添い看護した。けがの処置手伝いに加え、自転車の片付け、通院可能な病院など調べた。後日、老人女性から生徒善行のお礼があった。

表彰区分 善行

(災害に対する救助・救援活動(人命救助))

学校名 静岡県立新居高等学校

氏名 鈴木愛弓 三年

平成29年10月4日(水)午後4時ごろ、浜松駅近くで高齢者施設から行方不明になっていた認知症の80代の女性に出会い、自宅への道を探ねられたため、スマートフォンで地図を調べながら一緒に探したが、尋ねられた場所が以前住んでいたところであったため、近くの浜松東警察署に連れて行き、事情を説明し、女性を保護してもらった。

一般財団法人 静岡県高等学校安全振興会

第7回全国高等学校等安全互助会 連絡協議会総会並びに研修会

期日 平成29年10月5日(木)
会場 埼玉県川越市 川越東武ホテル



鈴木新会長あいさつ



総会会場

本会の上部組織である、「全国高等学校等安全互助会連絡協議会(協議会)」は、全国の県・市で15団体が加盟し、各県の法人が実施する見舞金給付事業等を支援しています。
過日、第7回協議会総会が行われ、本年度から協議会の会長に、静岡県の鈴木敏彦理事長が選任されました。任期は3年間で、協議会の事務局を静岡県が担当します。

お知らせ

静岡県高等学校安全振興会が実施しています「見舞金給付事務の流れ」が変わります。

「医療等の状況」を所属する学校に提出し、「スポーツ振興センター」からの給付額の合計が5万円以上の災害の場合、学校から本会に見舞金請求が出来ます。本会では、センターからの給付金の2割を学校宛に給付通知とともに送金してきまして、平成30年4月より直接保護者の金融機関口座に送金(本会より直接振込む)することに「給付の流れ」を変更させていただきます。円滑な見舞金給付事業の運営を行いますので、会員の皆様にはご理解くださいますようお願いいたします。詳細は本会ホームページをご覧ください。

編集後記

会報第一三五号の編集にあたり、「学校PTA紹介」のコーナーを企画し、初回に下田高校・清水東高校・掛川東高校及び東部特別支援学校のみならず寄稿をお願いしましたところ快諾いただきました。ありがとうございました。
本会では、今後会報発刊にあたり、このコーナーを続けたいと考えています。東部・中部・西部と特別支援学校の学校順に従い、寄稿をお願いする予定です。みなさまに親しまれる会報をお届けできますよう努めますので協力ください。(事務局)

平成三十年一月五日発行 第二三五号

静岡県公立高等学校PTA連合会事務局

〒441-0853 静岡市葵区追手町九番一八号

静岡中央ビル六階

電話(〇五四)二五五一四六七八

印刷 松本印刷株式会社

〒441-0853 静岡県榛原郡吉田町片岡三三〇

電話(〇五四八)三三二〇八五〇

発行部数 一〇、二〇〇部